

窯業系屋根材塗り替え用下塗り塗料

ヤネ強化プライマーEPO

系 統 ターペン希釈形一液エポキシ樹脂プライマー

適用規格 —

ホルムアルデヒド放散等級 —

特 長

- 1) 窯業系屋根素材(新生瓦、波形スレート)などの塗り替え用プライマーとして適しています。
- 2) 弱溶剤形なので臭気がマイルドで作業環境に優しく、旧塗膜を侵しにくいです。
- 3) 浸透性、屋根材への表面強化性が優れています。
- 4) 1液型であり、2液型塗料で問題になる残塗料の無駄や調合ミスが生じません。
- 5) エポキシ樹脂の特性を活かした耐水性の良好な下地層を形成します。
- 6) 塗装作業性に優れています。

塗装条件

塗装方法	はけ ローラー	窯業系素材 エアレス スプレー			
希 積 率	0%	0%			
標準所要量 (kg/m ² /回)	0.20~0.40	0.25~0.45			
希 積 剤	(塗料用シンナーA)				

注) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。
標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

塗装間隔

		温 度	23℃	
標準塗装間隔	最 短	4 時間		
	最 長	7 日		
使用時 限		—		

塗料性状

項 目	内 容
1 荷 姿	12kg
2 混 合 比	—
3 色	淡黄色透明
4 つ や	—
5 仕 上 ぎ 感	—
6 塗 料 比 重	0.88
7 溶 剤 比 重	0.86
8 加 熱 残 分	16%
9 劇 物 表 示 (品名・含有量)	—
10 労 安 法 上 の 表 示 有 害 物	キシレン
11 有 機 則 / 特 化 則	第3種有機溶剤等
12 消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	第4類 第2石油類(非水溶性)
13 硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	—

主な適用素材

窯業系屋根材(新生瓦、波形スレート)など

主な適用下塗り塗料

主な適用中塗り塗料

アレスクールプライマー(アレスクールでの塗装の場合)

主な適用上塗り塗料

ダイナミックルーフシリーズ、アレスクールシリーズ、
スーパーシリコンルーフペイント 等

使用上の注意事項

- 1) 水分との反応により塗料がゲル化します。塗料開缶時には湿気や水分ができるだけ混入しないように注意してください。また別容器に移した使用塗料を再度塗料缶に戻すことは避けてください。開缶容器は必ず密閉しできるだけ早く使い切るようにして下さい。
- 2) 塗装を行う前には、高圧洗浄機等を用い、劣化した旧塗膜や表面の化粧層、汚れを入念に除去して下さい。その後、水分がなくなるまで1~2日程度、十分に乾燥させて下さい。(特に重なり部に水分がなくなるまで乾燥させて下さい。)
- 3) カラースレート屋根が雨、露、霜など濡れている場合は十分に乾燥させてから塗装して下さい。未乾燥で塗装するとフクレ、ハガレ、フレが発生します。
- 4) 降雨の予想される日、冬期、外気温の低い時の塗装は避けて下さい。乾燥中に雨や夜露にあたると白化することがあります。
- 5) 反応硬化形の塗料なので、塗装機器の放置は避けて下さい。使用後はラッカーシンナーで十分洗浄して下さい。
- 6) 日本瓦など釉薬のかかった粘土瓦(いぶし瓦、釉薬瓦)には密着性が悪い為、塗装は避けて下さい。
- 7) 著しく劣化したコンクリート瓦(洋風コンクリート瓦)の場合は、塗替え塗装後に剥離が生ずることがあります。事前の試し塗りで付着性を確認してください。
- 8) 塗料が皮膚に付くと、カブレをおこす危険性があるので、皮膚に付かないように取り扱って下さい。なお、詳細なパンフレットが別にありますので必ず参照して下さい。
- 9) 換気の良い場所で取り扱い、容器はその都度密栓して下さい。
- 10) その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照して下さい。

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

※本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますのであらかじめご了承ください。